

織田信長の視線で楽しむ日本遺産 - その暮らしと力

パネル展
および
日本遺産講座



現在、滋賀県では26件の構成文化財が日本遺産に指定されています。
県内の日本遺産の魅力を多くの方には知っていただく為に
「織田信長」の視点による日本遺産の魅力を紹介する日本遺産講座
およびパネル（画像）展を開催いたします。
ご来場下さった方には特製リーフレット（先着500名）をプレゼント！

さあ、新たな視点で日本遺産を見てみよう！

① パネル（画像）展

「織田信長の目線で楽しむ日本遺産-その暮らしと力」

- ◎展示会場 「滋賀県立安土城考古博物館エントランス」
 - ・期間 平成28年11月5日（土）～12月11日（日）
 - ・参加 自由・無料
- ◎展示会場「滋賀県立図書館ロビー」
 - ・期間 平成28年12月14日（水）～12月18日（日）
 - ・参加 自由・無料



特製リーフレット

② 日本遺産講座

「織田信長の目線で楽しむ日本遺産-その暮らしと力」

- ・日時 平成28年11月6日（日）13時30分～15時
- ・場所 滋賀県立安土城考古博物館セミナールーム
- ・講師 公益財団法人滋賀県文化財保護協会 大沼芳幸
- ・参加 自由・無料

日本遺産「琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産」の概要
認定：平成27年4月（追加認定 平成28年4月）
構成団体：滋賀県、大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、
東近江市、米原市、長浜市（追加認定）
構成文化財：26件（うち追加認定5件）

現在開催中

日本遺産パネル（画像）展「白洲正子の目線で楽しむ日本遺産-その祈りと美」

- ・平成28年9月10日（土）～11月1日（火） 滋賀県立安土城考古博物館
- ・平成28年11月9日（水）～11月29日（日） 滋賀県立図書館

お問い合わせ先

○日本遺産講座およびパネル（画像）展示について
公益財団法人滋賀県文化財保護協会
・担当者：普及専門員 大沼芳幸
・電話：077-548-9780

○日本遺産「琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産」について
公益社団法人びわこビジターズビューロー
・担当者：木村敏晴、岡田拓也
・電話：077-511-1530

概要

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会では、平成27年度に認定を受けた日本遺産「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」の魅力を発信し、認知度向上を図るため、公益財団法人滋賀県文化財保護協会と連携して、標記の講座およびパネル（画像）展（第2弾）を開催しますので、お知らせします。

1 内容

平成27年度、琵琶湖とその周辺にある21件の文化遺産群が「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」として日本遺産第1号に認定されました。また、今年度には、竹生島など5件の文化遺産が構成文化財として追加認定されたところです。

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会（会長 佐藤良治）では、公益財団法人滋賀県文化財保護協会を実施機関として、日本遺産の魅力を発信し、日本遺産に親しんでいただくため、「白洲正子」の視点に引き続き、今回は、「織田信長」の視点による日本遺産の魅力を紹介する日本遺産講座およびパネル（画像）展を開催します。

なお、パネル（画像）展示は、滋賀県立安土城考古博物館および滋賀県立図書館の2会場で、巡回展示します。

- ・講座およびパネル展の来場者に別添リーフレットを配布（先着500名）
- ・展示画像パネル 28枚（各A1サイズ） ※別添リーフレットを拡大編集

（1）パネル（画像）展「織田信長の目線で楽しむ日本遺産—その暮らしと力」

○展示会場「滋賀県立安土城考古博物館エントランス」

- ・期間 平成28年11月5日（土）～12月11日（日）
- ・参加 自由・無料

○展示会場「滋賀県立図書館ロビー」

- ・期間 平成28年12月14日（水）～12月18日（日）
- ・参加 自由・無料

（2）日本遺産講座「織田信長の目線で楽しむ日本遺産—その暮らしと力」

- ・日時 平成28年11月6日（日）13時30分～15時
- ・場所 滋賀県立安土城考古博物館セミナールーム
- ・講師 公益財団法人滋賀県文化財保護協会 大沼芳幸
- ・参加 自由・無料



2 今回の講座・パネル（画像）展の内容・特徴

- ・ 日本遺産とは、地域に点在する文化遺産群を物語（ストーリー）で結び、一体的に発信・PRし、地域の活性化を図ることを目的としています。
- ・ 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」は、日本最大の湖であり、豊富な歴史資源の源でもある琵琶湖を中核に据え、日々の暮らしや祈りにより育まれてきた文化を「水の文化」としてまとめた物語（ストーリー）です。
- ・ しかし、26件もの構成文化財を直接的に結ぶ物語が存在するのではなく、「水の文化」をテーマにまとめられた日本遺産を紹介する人または訪れる人々が、それぞれの感性で物語を紡ぐことが重要であると考えます。
- ・ そのきっかけとして、今回は、滋賀県にゆかり深い「織田信長[1534（天文3）～1582（天正10）]」を物語の語り部として、その視点により日本遺産の魅力を紹介することとしました。
- ・ 織田信長は、その絶頂期を近江で過ごし、その本拠として安土城を築城し、近江を拠点に天下統一を目指しました。そしてその行動は『信長公記』に詳しく記録されています。
- ・ 今回の講座・展示では、『信長公記』の記載を踏まえ、「信長は琵琶湖の水運力を重視し、これを掌握しようとした」、「信長は琵琶湖の力に依拠した神となり、日本を統治しようとした」という二つの視点に立ち、日本遺産を語ってもらいました。信長以降に成立した文化遺産も含まれますが、これは信長が基礎を造った武家文化の延長戦にあるもの、という視点から紹介しています。
- ・ 故人の感性を借りた日本遺産の新たな見方として、楽しんでいただければと思います。

3 問い合わせ先

○日本遺産講座およびパネル（画像）展示について

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

- ・ 担当者：普及専門員 大沼芳幸
- ・ 電話：077-548-9780

○日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」について

公益社団法人びわこビジターズビューロー

- ・ 担当者：木村敏晴、岡田拓也
- ・ 電話：077-511-1530

4 その他

○日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」の概要

- ・ 認定：平成27年4月（追加認定 平成28年4月）
- ・ 構成団体：滋賀県、大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市（追加認定）
- ・ 構成文化財：26件（うち追加認定5件）

○現在開催中

日本遺産パネル（画像）展「白洲正子の目線で楽しむ日本遺産―その祈りと美」

- ・ 平成28年9月10日（土）～11月1日（火） 滋賀県立安土城考古博物館
- ・ 平成28年11月9日（水）～11月29日（日） 滋賀県立図書館